NIE実践報告

１．タイトル：確かな思考力・判断力・表現力を育成するＮＩＥ活動の研究

２．学校名

北九州市立鴨生田小学校

３．実践者名（代表者名）

針尾泰久

４．学年

第６学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科　国語科　総合的な学習の時間

６．単元（本時の学習課題）名

わたしたちの住んでいる北九州市の環境への取り組みについて考えよう

７．目標（狙い）

人間の生活に必要不可欠な飲み水をカンボジアの人たちに届けようとしている北九州市の支援について様々な考えをもつことができる。

８．評価の視点

人間の生活に必要不可欠な飲み水をカンボジアの人たちに届けようとしている北九州市の支援について自分たちの普段の生活を振り返り、具体的な考えをもっているか。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

総合的な学習の時間における単元「わたしたちの環境保全のあり方を探る」の中の小単元「わたしたちの住んでいる北九州市の環境への取り組みについて考えよう」　１０時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

1　「キタキュー力　北九州　環境都市への挑戦」の記事を読み、北九州市が、「いつ」「何を」「どのような目的で」取り組んでいるのかの事実を確認する。（１０分）
2　読み取った事実を小グループで出し合い、事実確認を行う。（７分）
3　北九州市が取り組んでいる事実を基に、なぜ、北九州市がそのような取り組みをしているのか小グループで話し合う。（１０分）
4　小グループで話し合ったことを基に、学級全体で意見を出し合い、話し合う。（１０分）
5　話し合ったことを基に、自分の考えを「ぼく・わたしの考える」シリーズにまとめる。（８分）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「北九州市は、本当にいい所だと思った。なぜなら、北九州市は、蛇口から茶色く濁っていた水が出ていたプノンペンを、水を沸かさずにそのまま飲めて、そのまま飲めてきれいな水が出るプノンペンに変えたから。」
「北九州市はよい行いをしている。」

12．成果と課題

○　社会科学習で学んだ北九州市の公害克服の歴史を基に、今、北九州市が取り組んでいることの価値をしっかりと考え出すことができていた。
○　「北九州市は、その国に貢献したということになる。」と国際貢献の必要性も考えることができた。具体的な数値の変容を基に自分の考えを具体的に記述することができた。
○　数値の変容から北九州市の技術力の高さをしっかりと考え出すこともできている。